

質問者	質 問 ・ 意 見 等	回答者	回 答 要 旨
加藤委員 (八峰町長)	<p>3 報告事項</p> <p>【秋田県実行委員会設置要綱及び大会スケジュールについて】 【大会の概要及び経緯について】 【大会に関連する県予算事業（平成29年度）について】</p> <p>質問等なし。</p> <p>4 協議事項</p> <p>【基本構想（案）について】</p> <p>秋田県漁業の今の現状からすると、資源の問題、最近のマグロの規制問題、担い手の問題、様々厳しい状況にある。そういう意味では、この大会が果たす役割は、非常に大きいものだと思う。式典会場、放流会場は、今示されたとおりで結構であるが、全県的に大会に関心を寄せ、これを契機にしながら漁業を振興させていくという立場からすると、できるだけ主要会場以外のところについても、様々な行事を通じたり、様々なやり方で連携をすることも必要ではないかと思っている。例えば、今月の5日に「第12回あわびの里づくり祭り」をやったが、その際にも、海づくり大会のPRをしてもらった。そのような機会を通じながら、できるだけ広く、大会の意義というものをPRしつつ、将来の漁業振興につなげていけるように、広く色んな形で各地でやれるようなものをこの後の計画の中でつくってもらえればありがたい。</p>	事務局 (参事)	<p>先程の報告の中で、平成29年度の県の関連予算事業についても御説明したとおり、県民総合リレー放流事業については、平成31年の大会まで、継続的に進めていきたいと考えている。また、安全で魅力ある漁港づくり推進事業においても、県管理漁港の整備について、地域の漁業者、地域住民との協働の取組の中で、県民の皆さんの機運醸成を図りながら進めてまいりたい。さらに「あわびの里づくり祭り」等の県内各地域で継続的に行っている祭典・行事においても、できる限り我々も参画し、県民総参加による海づくり大会の開催に向けて、引き続き御協力の程、お願いしたいと考えている。関係市町村の皆様についても御理解の程、お願いしたいと思っている。</p>

